

演習4

関係機関との連携

グループ・スーパー・ビジョン(GSV)の理解

1月 6日(水)・12日(火)・14日(木)・26日(火)・28日(木)

長野県相談支援専門員協会 理事 中村 修
(ゆらり相談支援センター)

はじめに

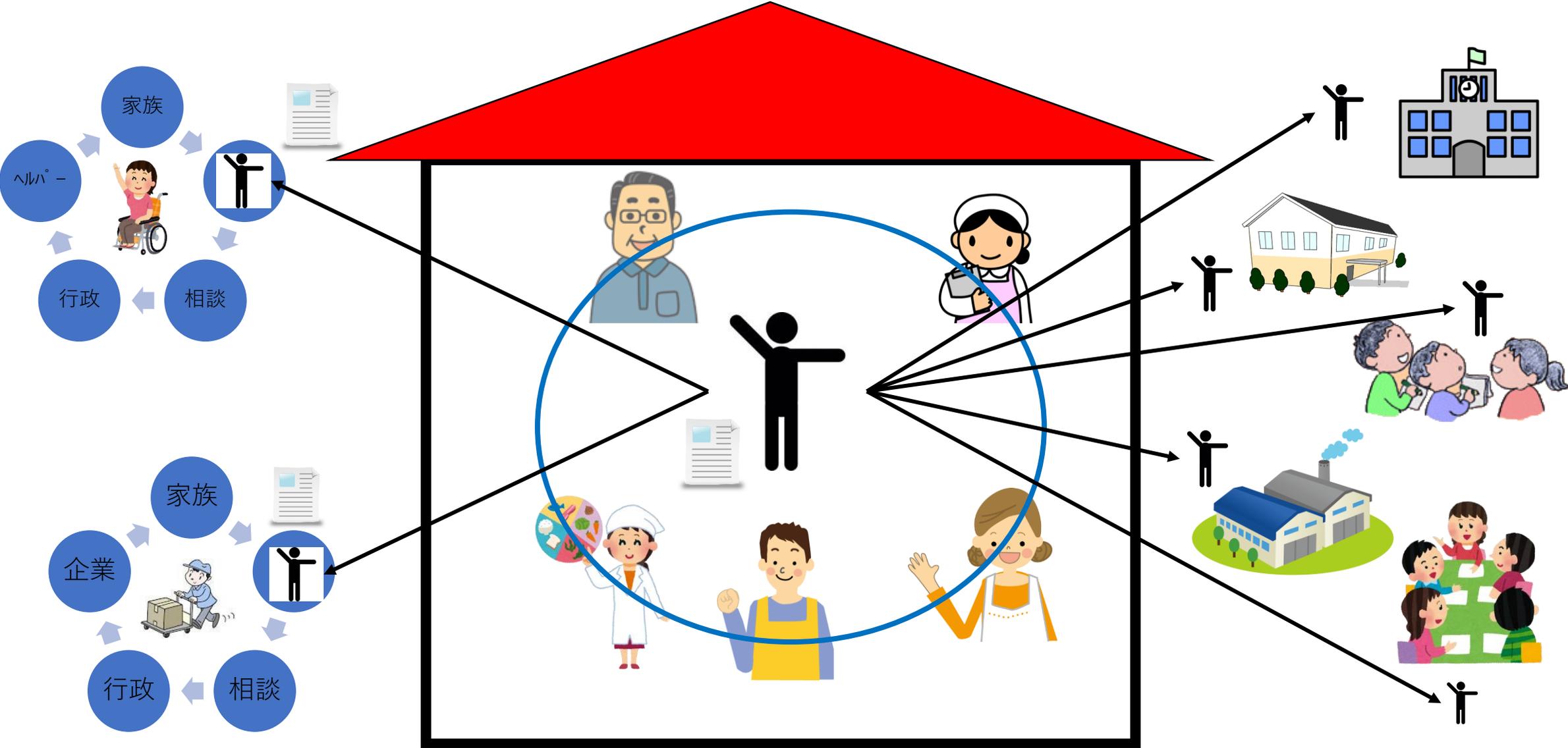
〈演習の目的〉

地域連携を深め、事業所や地域における人材育成を更に図るための取り組みを検討する

3年、5年、10年先を見据えた
人材育成。
今取り組むことは？



サビ児管の役割とは



サビ見管の役割とは

サビ見管は、

事業所内では

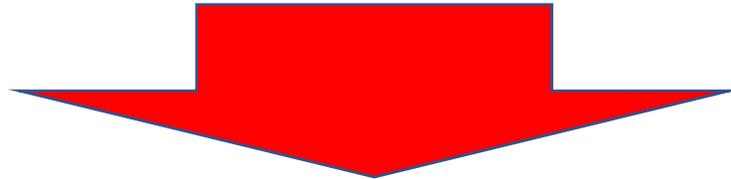
チーム作り・人材育成

事業所外では

地域資源の活用・改善・開発

関係機関との連携

などが求められている



事業所の中・外で相談ができていますか？

相談できる方はいますか？

はじめに…サビ兎管の役割とは

ここでは、

人材育成、ネットワーク作り、自己のスキルアップ、
課題の検討などの手法の一つとして

スーパービジョン

とりわけ **グループスーパービジョン(GSV)**

について紹介させていただきます

グループスーパービジョン(GSV)とは…

スーパービジョンの一手法であり、
通常のスーパービジョンと異なり、**スーパーバイザー**（事例報告者）
と**スーパーバイザー**（その他メンバー）との意見交換によって進め
ていく

→スーパーバイザーとスーパーバイザーの関係が上下関係
（指導関係）ではなく、水平関係になる。

→そのため、**コーディネーター（ファシリテーター）**による進め方
が重要となる

スーパービジョンの3つの機能（小澤温氏）

管理 機能

職場における相談支援のミッションを理解し、相談支援の価値観や実践の目的について理解を深める。

教育 機能

利用者のエンパワメントに関して理解を深める。利用者のリカバリー（新しい生き方の再発見）に関して共感性を養う。

支持 機能

さまざまなケースを担当しているサビ児管や介護職への励まし、共感的理解 促す 。これによってバーンアウト、業務意欲の喪失、マンネリ化を防ぐ。

★グランドルール

- ① 端的に発言する(最長30秒!)
- ② 積極的に参加し、たくさん発言する。
(無責任な意見でもかまわない。)
- ③ 否定的な発言はしない。受容的な雰囲気醸成する。
- ④ 求められたゴール・課題に向けて発言する。
(自分の興味・関心で発言するのではない)
- ⑤ 多様な意見が場に出るようにつとめる。
(自分ばかりが発言しないよう留意する。)
- ⑥ 根拠を持って発言する。
- ⑦ 時間を守る (ファシリテータが時間管理します)

★基本的視点

- ① 個別性の重視
- ② 生活者視点、QOLの重視
- ③ 本人主体、本人中心 児童の場合親の思いなどにも留意
- ④ 自己決定、意思決定への支援
- ⑤ エンパワメントの視点、ストレングスへの着目
- ⑥ 権利擁護 アドボカシー
- ⑦ 地域の多様な資源へのアクセスと活用、資源開発
- ⑧ チームアプローチ、多職種連携
- ⑨ インフォーマルなサービスを大いに活用する

でははじめます

○場面

自立支援協議会でのサビ児管の集まり

○参加者



コーディネーター(進行) 丸山さん(相談支援専門員)

スーパーバイザー 臼井さん(サビ管)

平澤さん(サビ管)

里見さん(サビ管)

松澤さん(児発管)

スーパーバイザー(事例提供) 中村(B型サビ管)

記録等 伊藤さん・飯島さん

映像を見ながら、解説をします。

お手元に

「天竜千曲さんの事例」

「GSV進行表」

をご用意ください。

映像と解説でおよそ40分程度です。

スーパービジョンを行う目的と人材育成

○同僚などと情報共有することでアセスメントの精度を上げる

→一人の価値判断の限界を知る

→ストレングスアセスメントの視点

○ストレングス視点の獲得や活用が具体的に行われる

→自分では気づけなかった視点の理解

○インフォーマル資源が活用できる柔軟なアイディアを出せる

→地域作り、資源開発への視点

スーパービジョンを行う目的と人材育成

○個人だけではなくチームが学ぶことができる

→「人の振り見て我が振り直せ」

○振り返りを行うことにより、継続した実践をチームで分かち合う

→事例提供者個人の課題からチームの課題へ

最後に…

GSVにおいて一番重要なことは

セレブレーション(祝福)です

どんな報告、小さな発見であっても分かち合い、肯定的にとらえることで、前向きな議論となっていくと思われれます

サビ児管の人材育成・地域連携のひとつとしてGSVを取り入れることで、自身のスキルアップの他、地域診断・開発・発見などの効果もあるものと思います